

サンケン電気が24/3期最終赤字を計上 直ちに格付に影響せず

以下は、サンケン電気株式会社（証券コード：6707）が24/3期最終赤字を計上したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- 当社は10日、24/3期の決算を発表した。売上高は2,352億円（前期比4.4%増）、営業利益は195億円（同25.3%減）、最終利益は81億円の赤字（前期は95億円の黒字）となった。自動車向け製品の売上増加などで増収となったが、海外での買収関連費用の計上や本年1月に発生した能登半島地震の影響もあり営業減益となった。また、震災で国内工場が被災したことによる災害損失、米国子会社での減損損失、旧ユニット製品からの撤退に伴う損失などの特別損失を計上した。一方、24/3期末の自己資本は1,193億円と前期末の1,110億円から増加した。最終赤字の計上に伴い利益剰余金が減少したが、円安で為替換算調整勘定が増加した。24/3期末の自己資本比率は31.1%と前期末の36.8%から低下したが、これはクロッカス社の買収などに伴い総資産が増加したことが主因である。
- 今般の最終赤字計上が財務構成に与える影響は限定的であり、直ちに格付に影響するものではない。一方、当社が発表した25/3期の業績予想は売上高2,010億円、営業利益139億円、最終利益2億円と力強さに欠ける。コロナ禍後の半導体不足に起因する過剰発注の反動でサプライチェーンにおける在庫調整が生じているほか、震災による影響も残る見通しであり、今後の業績動向には注視が必要である。また、サンケン電気本体の事業における収益力向上が引き続き課題であり、今後の成長戦略と利益率改善に向けた諸施策の成果に注目していく。

（担当） 関口 博昭・山口 孝彦

【参考】

発行体：サンケン電気株式会社

長期発行体格付：BBB+ 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル